

2020年1月11日 年初から1週間経ちましたが、比較的平穏な日々が続いています。インフルエンザは沈静化しています。

2020年1月18日 インフルエンザ検査で陽性率が目立って低下しています。まだB型は出ていません。今年はスギ花粉症は少ないと見込まれていますが、早めの投薬を希望される方がぼつぼつ見えています。

2020年1月25日 昨年の後半から看護師の退職や病氣療養が相次ぎ、常時複数勤務体制が壊れました。当面、今後午後には看護師一人体制、病欠が出た場合は看護師無しの診療か、休診かになります。検診、検査、注射はなるべく午前中に。薬の一包化希望の方は事前に連絡を。お子様の散剤の調剤は処方箋で院外薬局へ。色々にご迷惑をかけますがご協力をお願いしたいです。

2020年2月1日 診療統計を更新しました。

2020年2月8日 今週はインフルB型の方が初めて何人か出ました。爆発的な流行のないまま今年のインフルが収束していくサインと思われます。新型コロナウイルスの流行が心配されていますが、幸い当院の周りではまだ兆しはありません。1月末に最近中国に行った人が喉に違和感があるということで来院しましたが、「風邪」として投薬してそれきりでした。

2020年2月15日 子供さんの散剤の風邪薬を処方箋で出すようになって1ヶ月くらい経ちました。「え、そうなんですか」とビックリ(ガッカリ)されるお母さんも居ますが、「しょうがない」と概ね冷静に受け止めてもらえているようです。薬局からの問い合わせも思ったより少ないです。

2020年2月22日 咳痰、鼻水で来院されて特に高熱も無い方で「風邪でしょうか？」と聞かれる方が居ます。コロナウイルスが心配なのでしょうが、検査の出来ない現状では「風邪でしょう」とお答えする以外にありません。厚労省は風邪即休業を勧めています。しかしまだその雰囲気は無いです。コロナのパンデミックになったら、中国と同じように日本中が2週間くらい強制的に休むと言うような措置が必要になると考えられます。

2020年2月29日 コロナ蔓延阻止のため、小中高の学校のほぼ1ヶ月休業の措置が実行されました。医療機関に受診すると返って病気を移される危険があるので風邪ではまず自宅安静にすること、医療従事者も熱発があれば休むようにとのことで

す。当院のような診療所では院長が風邪を引けば休診となりますが、診療していても待合室には患者さんがいないという事態になるかも知れません。

2020年3月7日 3月に入り患者数が3分の2に減りました。特に子供さんは激減(1週間で風邪が2人、予防注射が2人)しています。コロナらしい患者さんは今のところ居ません。マスクやアルコールが当院でも不足しています。

2020年3月14日 普通の風邪とコロナ感染症の区別がつかない現状では、マスクが診察をする上で必須のアイテムとなっています。マスクをしていれば濃厚接触とは見なされません。インフル検査の為の鼻腔ぬぐい液の採取では、マスク、手袋、ゴーグル、ガウンの着用が必要です。どれかが無い場合には、検査をせずに必要であれば抗インフル薬の投与をすべきとされています。コロナウイルスの検査は現状では相談センターを介して、指定病院でしか行えません。

2020年3月21日 コロナのオーバーシュートの可能性が言われていますが、その兆しは今の所感じられません。インフル検査を希望する方もめっきり減っています。寝た子は起こさないで、このまま沈静化して欲しいです。

2020年3月28日 コロナを移し移されるのが心配なのか、風邪症状の患者さんの来院が少ないです。7、8割が慢性疾患です。下痢や花粉症の方はちらほら見えますが、総じて来院数は2割減少といった所です。この状態がいつまで続くのか分からないので、今年の春の給与改定は取り敢えず2ヶ月延期としています。

2020年4月1日 診療統計を更新しました。

2020年4月4日 来院患者数が、2割減どころか4月に入って半減しています。風邪では減多に医者にかからないと言う雰囲気ですが、慢性疾患も減っています。真夏の8月のようです。このまま行くと経営困難で続行不能となります。

2020年4月11日 コロナウイルス蔓延で緊急事態宣言が出されました。報道では指定医療機関でのPCR検査の実施、陽性者の隔離、入院治療が限界で医療崩壊寸前とのことです。近くの大学病院からはECMOを最大限稼働するため、入院や通常手術を制限して準備するとの知らせが来ました。

医師会からはコロナ患者の経過観察の為にPCR検査への参加要請が来ています。当院の外来は閑古鳥が鳴いて暇なので協力したい気持ちはありますが、自分がコロナ感染して診療ストップとなるリスクを考えると二の足を踏んでしまいます。

2020年4月18日 コロナ感染を疑って、PCR検査依頼のため相談センターに2名の患者さんを紹介しました。1名は陰性、もう1名は結果待ちです。当院にもコロナ流行の影響が出始めたところです。今後、感冒症状や味覚嗅覚障害などの出ている方の診察は完全防護が必要です。(一応の準備は整えました)

2020年4月25日 検査結果待ちだった患者さんについて1週間後に保健所から連絡がありました。コロナ陽性でした。マスクをしていたし短時間の接触だったので、濃厚接触者とは見なされず私も職員もPCR検査には回されませんでした。2週間経過を見て異常なければ一件落着と言うことです。患者さんのその後の経過については聞いていません。5月6日まで事実上のロックダウン状態で、慢性疾患の薬切れの方が細々と来院しています。コロナ怖さで風邪の方の来院は少なく、防護用具の出番はあまりありません。